

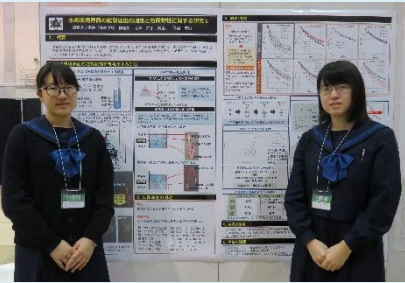


日本物理学会 第14回Jr.セッション 優秀賞受賞(5年連続入賞)!!

平成30年3月23日(金)、日本物理学会第14回Jr.セッションが東京理科大学野田キャンパスで開催され、優秀賞を受賞し、5年連続入賞を達成しました。

優秀賞 受賞テーマ

水溶液境界面の拡散速度の測定と溶質物性に関する研究



第14回 日本物理学会Jr.セッション (2018)
 2018年3月23日
 東京理科大学野田キャンパス



Jr.セッションは、日本物理学会の年次総会に合わせて毎年3月に開催されている中・高校生のための発表会です。今年は132件の応募から、Jr.セッション委員会において第1次・第2次審査の結果、本校の2件を含む102件が採択され、研究成果を発表しました。

毎年、研究内容・ポスタープレゼンテーションの高度化が進んでおり、高評価を得るためには、研究課題に対する真摯な取り組みを継続して行う必要があります。

発表会終了後には、「物質の中の電子の世界」について齋藤智彦先生(東京理科大学理学部応用物理学科)の高校生向け講演会が開催され、物理学の研究や発展について理解を深めることができました。



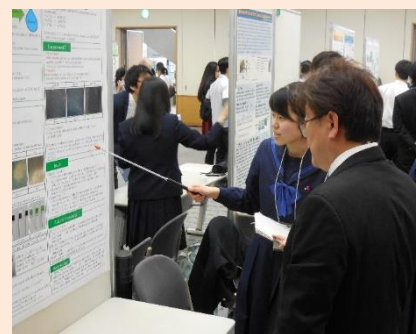
つくば Science Edge 2018 物理・化学・生物で研究発表

平成30年3月23日(金)・24日(土)の2日間にわたって、つくば国際会議場(茨城県つくば市)で「つくば Science Edge 2018」(主催:つくば Science Edge 2018 実行委員会、後援:文部科学省、科学技術振興機構等)が開催され、本校の物理部から2チーム(口頭1、日本語ポスター1)、化学部から日本語ポスター1チームおよび生物部から英語ポスター1チーム、それぞれ発表を行いました。



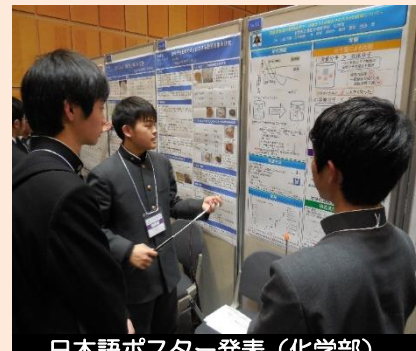
口頭発表(物理部)

今年は国内70校・海外12校、合計82校(271チーム)が参加し、口頭発表8チーム、サテライト口頭発表10チームおよびポスター発表259チーム(英語70、日本語189)が科学に関するアイデアを発表しました。



英語ポスター発表(生物部)

本校は口頭発表(日本語1)、ポスター発表(英語1日本語3)の発表を行いました。惜しくも入賞は逃しましたが審査員からの助言・講評を受けて、今後の研究の課題を見つける機会となりました。また、参加生徒どうしの交流も盛んに行われ、自分たちの研究について語り合い、友好を深めることができました。



日本語ポスター発表(化学部)

また、24日(土)の午後には、最先端の科学を研究する企業、団体、大学等による、自然科学や医学分野など、9テーマの多彩なワークショップ(各2回)が開催されました。来場した高校生は各自で希望したワークショップに参加し、理解を深めました。



九州工業大学 PBL 合同成果発表会 高校の部で準優勝

平成30年3月31日(土)、九州工業大学大学戸畑キャンパスで開催され、高校の部で準優勝しました。

この発表会は、福岡・熊本から高校・大学・工業高専が参加し、日頃の課題研究やPBLの成果を発表する研究発表会と、高校生のロボットコンテストが行われました。本校は、課題研究発表会にエントリーし、高校の部で準優勝することができました。

研究発表会の審査は、大学・高専などの教育関係の先生方と企業や行政機関の方々によって行われ、通常の発表会とは違う視点での質疑応答で、今後の研究を進めるために有意義な時間になりました。



準優勝した物理部の発表